

新着図書から佐賀に関する本のご紹介

(平成30年12月25日掲載)

貸出と予約の開始は12月25日(火曜日)、インターネット予約の開始は1月8日(火曜日)です。

『日本神話の「謎」を歩く』	『清末中国の士大夫像の形成』
藤井 勝彦／文・写真	小野 泰教／著
山と溪谷社(発売)	東京大学出版会
イザナキとイザナミの国生みの舞台、神功皇后ゆかりの地、聖徳太子が歩いた斑鳩の里…。全国450カ所以上の記紀神話伝承地を取材。テーマに合わせた36のルートを紹介しながら、古代史にまつわる様々な謎を解き明かす。 県関係では、吉野ヶ里遺跡、久保泉丸山遺跡などが紹介されている。	中国初代駐英公使・郭嵩燾の士大夫像の模索を、彼の思想や実践から明らかにし、清末中国の士大夫像の形成が持った意味の解明に迫る。同時代の多くの士大夫たちの言論や、時代の異なる人物たちの思想との比較も試みる。著者は本県生まれ。
請求番号 : 210.3/F,57	請求番号 : 222.06/O,67

『正しい愛と理想の息子』
寺地 はるな／著
光文社
32歳の長谷眞と、30歳の沖遼太郎。コンビを組む2人は違法カジノで働いていたが、失敗ばかり。偽宝石売りでも無一文になるが、商店街にたむろする老人たちを見て、「これからは、年寄りだ」と閃き…。泣けるバディ小説。 著者は本県生まれ。
請求番号 : F/Te,42

[➡バックナンバーはこちら](#)

[➡インターネット予約・貸出についてはこちら](#)

郷土資料室の到着資料一覧

[➡詳細はこちら](#)

郷土資料室の本は貸出を行っておりません。
郷土資料室での閲覧をお願いします。

[資料紹介へ戻る](#)

[佐賀県立図書館のトップページへ](#)